

成果の説明書

(氏名) 木暮律子	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 【研究活動】 ①日本語教育カリキュラムに関する報告 今年度完成年度を迎えた留学生対象の日本語教育カリキュラムについて、カリキュラム改編に向けた取り組みと新カリキュラムの概要をまとめ報告した。 ・「学部留学生対象の日本語教育カリキュラムの改編」『地域政策研究』第 25 巻第 3 号 pp.107-121 ②ビジネス日本語教育のための基礎調査 昨年度に引き続き、「ビジネス日本語 I」を履修した学生に対し、受講後のアンケート調査を行い、授業の難易度や理解度について 2 年間の結果を分析した。 ③グループワークの教育効果に関する調査 「異文化コミュニケーション」の講義において、異文化間協働のグループワークを実施し、その教育効果に関する調査を行った。 【教育活動】 ①日本語教育カリキュラムの運営 留学生対象の日本語教育がスムーズに進められるよう、必修日本語科目のクラス分けを実施し、非常勤講師との連絡調整及び日本語科目 9 科目の統括を行った。 ②専門二字漢語の確認テストの実施 「大学生活のための日本語」の講義において、経済学及び地域政策学で用いられる二字漢語の確認テストを実施し、授業内で理解の定着を図れるよう語彙指導を行った。 ③留学生の情報リテラシーに関する調査の実施 新入留学生ガイダンスにおいて、留学生の情報リテラシーと受講環境について調査し、課題の作成や提出がスムーズに行えるよう支援した。 ④アクティブ・ラーニングの実践 「異文化コミュニケーション」の講義において、グループで行う課題を毎回課し、学生間のコミュニケーションを促すとともに、学んだ内容を活用した実践的なトレーニングを行った。また、Forms による課題の提出を通して学生の理解度をはかり、授業展開にも反映させるよう努めた。	
2 その他の事項 ・新入留学生に対するサポート：国際交流センター主催の留学生ガイダンスのなかで就学・生活指導を行い、留学生が日本の大学生活に適応できるようサポートした。 ・留学生アンケートの実施：新入留学生を対象に、入試情報の収集方法に関するアンケート調査を行った。また、大学情報の発信方法について他大学の取り組みを調査し、今後本学が取り組むべき課題を報告書にまとめた。 ・日本語部会の実施：日本語科目を担当する非常勤講師とともに日本語部会を開催し、カリキュラムの検討や授業の振り返り、次年度に向けた課題の共有を行った。	
3 次年度以降の計画・抱負 来年度は、現在執筆中の「ビジネス日本語 I」の実践報告をまとめるとともに、グループワークを導入した授業の教育効果に関する分析を進める予定である。また、留学生対象の日本語科目において、ピア・ラーニングを取り入れた授業改善に取り組んでいきたい。	